

各 位



平成 12 年 11 月 30 日

東京都目黒区中目黒 2 丁目 6 番 2 0 号
楽 天 株 式 会 社
代表取締役社長 三 木 谷 浩 史
(コード番号：4755)
問い合わせ先 常務取締役財務経理部長
高 山 健
TEL (03) 5720-3041

株式取得による株式会社インフォシークの完全子会社化に関するお知らせ

当社はインターネットビジネスでの業容拡大のため、平成 12 年 11 月 30 日開催の当社取締役会におきまして、株式譲渡により株式会社インフォシークの株式を取得し、完全子会社にする
ことに関し、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

・子会社の異動

1. 子会社となる会社の概要

商 号 株式会社インフォシーク

所 在 地 東京都渋谷区元代々木町 30 - 13

代表者の氏名 代表取締役社長 中村 隆夫

設立年月日 平成 10 年 11 月 13 日

事業の内容 ポータルサイト*の運営

*検索などの機能を備え、インターネット上の各ホームページへの「入り口」の役目を果たすサイト

決 算 期 9 月 3 0 日

従 業 員 数 75 名

資 本 の 額 387 百万円

経 営 成 績

(百万円)

| 決算年月 | 平成 10 年 10 月 - 平成 11 年 9 月 (監査済) | 平成 12 年 9 月 (未監査) |
|------|-------------------------------------|----------------------|
| 売上高 | 240 | 1,145 |
| 営業利益 | 32 | 1,270 |
| 経常利益 | 171 | 649 |
| 当期利益 | 171 | 650 |
| 総資産 | 967 | 1,117 |

2. 異動の前後における当社の所有にかかる子会社の議決権の数及びその議決権の総数に対する割合

| | (異動前) | (異動後) |
|--------------|-------|-------|
| 当社所有議決権数 | 0株 | 810株 |
| 議決権の総数 | 810株 | 810株 |
| 議決権の総数に対する割合 | 0% | 100% |

3. 異動の内容及びその年月日

内 容 Infoseek Corporation(住所:1315 Chesapeake Terrace Sunnyvale, CA USA)より810株(発行済株式総数の100%)を取得いたします。
異動年月日 平成12年12月7日(金)(予定)

4. 譲受代金

90億円(概算)

5. 取得の目的

当社はインターネット・ショッピング・モール『楽天市場』及びインターネット・オークション・サービス『楽天フリーマーケット』のサイト運営を中核事業として行っておりますが、インターネットに関するメンバーサービスの向上・多角化及び『楽天市場』出店企業へのサービス強化・多角化、トラフィックの増加を図るべく新規事業の開発及び取扱い分野の拡大に注力しております。

一方、株式会社インフォシークは、インターネット上で日本有数のポータルサイト*を運営しており、サービスの向上・多角化、コンテンツの拡充に注力しております。

ユーザーサービスとしては、当社はショッピングを中心としたエレクトロニックコマースサイトであるのに対し、株式会社インフォシークは検索を中心としたポータルサイトであり、両者には重複する部分が少ない一方で、組み合わせてサービスを提供することにより大きなシナジーが見込めます。

『楽天市場』出店者にとっては、株式会社インフォシーク運営のサイトからのトラフィックが期待されます。

当社グループに株式会社インフォシークを加えることにより、ネット上のメディアとしての存在感が増すこととなり、ショッピングのみに焦点を当てた企業から、より広く総合的なメディア企業を目指す布石となります。

以上のように、両者の間には事業上の相乗効果が見込まれることから、今次取得を決定いたしました。

* 検索などの機能を備え、インターネット上の各ホームページへの「入り口」の役目を果た

すサイト

6. 今後の業績に与える影響

当社では、インターネット業界の歴史が浅いこと及び環境の変化が激しいことなどの理由により、従前より業績見通しを発表しておりません。そのため業績見通しに代えて四半期決算の開示を行ってまいりました。

今後におきましても、引き続き業績見通しに代えて四半期決算の速やかな開示を行ってまいります。

株式会社インフォシークは営業赤字の状態となっておりますが、5.「取得の目的」にて記載した事業上の相乗効果の発揮による売上の増加や、当社との相乗効果によるマーケティング費用の低減に加え、各種経費の削減策を講じることにより、短期間での黒字転換が可能と考えております。

7. 総資産・売上高・損益に与える影響について（推定）

12月末日をみなし取得日として貸借対照表のみを連結するため、株式会社インフォシークの個別決算における損益が、連結決算上の損益に与える影響はございません。

ただし、本件により発生する連結調整勘定など費用性資産の償却に関連して、営業利益、経常利益、当期利益及び総資産について、償却額相当の減少を見込んでおりますが、その細目については未定です。

当社においては保守性の原則から、平成12年12月期に上記の費用性資産を一括償却する方針ですが、会計制度及び事業の状況を考慮のうえ資産計上することもありえます。本件により発生する費用性資産の総額は、概算85億円を見込んでおります。

8. 役員構成（予定）

役員構成につきましては、株式会社インフォシークでの正式な機関決議を経て決定いたしますが、下記の通りに予定しております。

| | |
|---------|---|
| 取締役会長 | 三木谷浩史（楽天株式会社 代表取締役社長） |
| 代表取締役社長 | 中村隆夫（現任） |
| 取締役副社長 | 山田善久（楽天株式会社 常務取締役） |
| 取締役副社長 | 佐藤康夫（株式会社インフォシーク ゼネラルマネージャー） |
| 取締役 | 伊藤穰一（株式会社インフォシーク 取締役会長、 株式会社ネオテニー 代表取締役社長） |
| 取締役 | 吉田敬（楽天株式会社 プロデューサー部部长） |
| 監査役 | 高山健（楽天株式会社 常務取締役） |

以 上